

今年も元気に活動する交通少年団！！

中野交通少年団

4/4



中野交通・地域安全のつどいにおいて、一日警察署長「おかずクラブ〜吉本興業」の二人と共演し安全教育を行った

大崎交通少年団

4/6



東急目黒駅前広場において大崎「思いやり・ゆずり合い」キャンペーンを行い、通行人に交通安全を呼び掛けた

向島交通少年団

4/6



交通安全出動式に向島交通安全協会会員や協力団体と共に参加、鼓笛演奏とともに北川警察署長らを管内巡回に送り出した

4/7



新設のえきまえテラスにおいて、鼓笛演奏と通行人に靴用反射材の直接貼付などを行い交通安全を呼び掛けた



八王子交通少年団

4/13

日野交通少年団



多摩動物公園コアラ展示40年記念において、一日警察署長に委嘱した「安全コアラ」くんと共演、来園者に交通安全を呼び掛けた

竹の塚交通少年団

4/6



竹ノ塚駅前キャンペーンで鼓笛演奏と啓発品を配布して、交通安全を呼び掛けた

贖いの日々

無責任な運転で

O・R 塗装工（25歳）

私は信号が青に変わるのと同時に、対向車線に進入し、先行車両を追い越しました。その後もすぐに自車線へ戻らず、そのまま対向車線を走ればこの先の穏やかなカーブで自然と自車線へ戻れると考え、さらにアクセルを踏み込みました。時間が気になり車内の時計へ目を移した瞬間、「ドン！」と大きな音とともにフロントガラスが割れ、エアバックが作動したので、何かに衝突したと分かりました。確認するため、外に出たところ、自分の車が道路の真ん中でぐちゃぐちゃになり、停車していましたが、前方には衝突したであろう、相手が見あたりませんでした。

しかし、反応はありませんでした。私はポケットに入れてあった携帯電話を取り出し、警察と消防へ通報し、私の家族にも事故の連絡をしました。その後、救急車と警察が来ると、被害者の方は病院へ運ばれました。私自身は怪我もなく、その場で警察の方から事情聴取されました。私の家族も事故現場へかけてくれましたが、私は

た。すぐに被害者の方のところへ行き、「大丈夫ですか」と声を掛けました。しかし、反応はありませんでした。私はポケットに入れてあった携帯電話を取り出し、警察と消防へ通報し、私の家族にも事故の連絡をしました。その後、救急車と警察が来ると、被害者の方は病院へ運ばれました。私自身は怪我もなく、その場で警察の方から事情聴取されました。私の家族も事故現場へかけてくれましたが、私は

その場で現行犯逮捕され、泣き崩れる母親の姿の前にバトカーに乗り、警察署に行きました。取調べを受けて分かったことは、私が先行車両を追い越すのに出した速度が100キロを超えていたこと、衝突時は97キロという速度だったことです。制限速度が40キロの道路であり、2倍以上の速度でした。取調べが終わると同時に「相手の方は亡くなった」と聞かされ、頭の中が真っ白になるとともに、「自分を取り返しなさい」と思いました。そして、私は在宅起訴となり、ご遺族のところへ謝罪に伺いましたが、「今はあなたに会いたくない。手紙なら受け取ります」との御意向でしたので、謝罪の手紙を送りましたが、お返事はいただけませんでした。お通夜にも私は参列できず、私の代わりに両親が参列し、謝罪してくれました。

それから1年後、裁判の日がやってきました。法廷に入ると、御遺族の方々が遺影を持ち、傍聴席に座られていました。裁判の終わりに「あなたを同じ目に遭わせてやりたい、人殺し」と言われ、その時、私は初めて直接頭を下げ、謝罪をしました。その時、聞いていただけじゃありませんでした。私は過失運転致死傷罪で懲役2年10月の判決を受け、現在市原刑務所で受刑生活を送っています。

私は取り返しのつかない罪を犯しました。ひとりの尊い命を奪うという交通犯罪を起こしました。ある年の冬の午前6時30分ごろ、当時22歳の私は、普段から走り慣れていた片側1車線の道路を走行していました。この日は会社の社長と一緒に現場に向かう予定でした。すごく寒い日だったので、早く社長宅へ行き、乗り換える作業車を暖めて待つというと考え、前方の先行車両を追い越そうとしたのが事故のきっかけです。

した。周囲を確認したところ、後方には原動機付自転車（バイク）が倒れており、この時初めて被害者がいる、大変なことをしてしまったと思いました。被害者の方を捜したところ、近くの路肩に倒れていました。

その場で現行犯逮捕され、泣き崩れる母親の姿の前にバトカーに乗り、警察署に行きました。取調べを受けて分かったことは、私が先行車両を追い越すのに出した速度が100キロを超えていたこと、衝突時は97キロという速度だったことです。制限速度が40キロの道路であり、2倍以上の速度でした。取調べが終わると同時に「相手の方は亡くなった」と聞かされ、頭の中が真っ白になるとともに、「自分を取り返しなさい」と思いました。そして、私は在宅起訴となり、ご遺族のところへ謝罪に伺いましたが、「今はあなたに会いたくない。手紙なら受け取ります」との御意向でしたので、謝罪の手紙を送りましたが、お返事はいただけませんでした。お通夜にも私は参列できず、私の代わりに両親が参列し、謝罪してくれました。

その後、私は在宅起訴となり、ご遺族のところへ謝罪に伺いましたが、「今はあなたに会いたくない。手紙なら受け取ります」との御意向でしたので、謝罪の手紙を送りましたが、お返事はいただけませんでした。お通夜にも私は参列できず、私の代わりに両親が参列し、謝罪してくれました。

その後、私は在宅起訴となり、ご遺族のところへ謝罪に伺いましたが、「今はあなたに会いたくない。手紙なら受け取ります」との御意向でしたので、謝罪の手紙を送りましたが、お返事はいただけませんでした。お通夜にも私は参列できず、私の代わりに両親が参列し、謝罪してくれました。

安全地帯

昨年、都内で発生した自転車に関与する交通事故は全体の46.3%を占め、全国平均の23.3%に比べ2倍近く高く、その半数に自転車利用者にも交通違反が認められました。特に令和2年以降は歩行者との接触事故が増加、3割以上が歩道上で発生していることから、交通ルールの遵守が求められています。また、昨年、自転車乗用中に交通事故で亡くなった方は32人で、その内の6割が頭部に致命傷を負うなど、ヘルメット非着用者の致死率は着用者に比べ2.3倍高くなっています。★このような状況下において、昨年7月、警察庁が各都道府県で行ったヘルメットの着用率調査によれば、都内の着用率は10.5%で全国平均13.5%より低いことから、着用率の向上が課題となっています。★次に、自転車の交通事故安全対策を紹介すると、近年、都内では車道上に自転車の走行路を示す自転車ナビマーク・ナビラインが設置され、自転車の走行環境の整備が進められています。★また、当協会では、自転車利用者の規範意識を高め、安全利用を促進するため、地域交通安全協会が主催する自転車実技教室で指導を行い、また、街頭において正しい自転車の乗り方を指導する指導員を養成するための講習（自転車安全教育指導員養成講習）を年2回開催しています。★5月は風薫る新緑の季節で、自転車に乗る機会も多くなりますが、ヘルメットを着用して、交通ルールを守るなど安全利用をお願いします。